

喜多方市長 遠藤 忠一 様

令和3年5月14日

要 望 書

喜多方市議会新型コロナウイルス感染症対策会議

喜多方市議会
議長 齋藤 勘一郎



新型コロナウイルス感染症拡大の対応について

国は、「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」を、5月末まで延長しましたが、その対策下にあっても、感染者数の増加傾向に依然として歯止めがかかっておらず、重症者数が過去最多となり、死者数も増加するなど、状況は刻々と悪化しており、医療体制の崩壊が現実味を帯びてきています。

全国知事会は、5月10日に緊急提言を発出し、国に対し、この深刻な実態を踏まえ、全国での緊急事態宣言発令の可能性を考慮するよう言及しました。

福島県も連日、感染者数の最多が更新され、加えて、感染速度が速いと言われている変異株が確認されており、指標別の現状は、確保病床の使用率が80%を超えるなど、4つの指標でステージ3又は4の状況にあり、5月末まで、感染拡大防止のための「緊急特別対策」を実施しています。

特に、会津若松市では、感染者数の急増が顕著に表れており、県は、まん延防止等重点措置の適用に向けた、国との協議を行っているなど、大変憂慮される状況にあります。

本市においても、感染者が連日報告されており、年齢を問わず感染が広がる傾向の中で、感染経路不明者も多数確認され、今後さらに感染の拡大や重症化へのリスク等が懸念される状況にあります。

医療機関の受診や入院に支障をきたすこの現状は、医療体制の限界を超え未知の領域に入っており、緊急事態に匹敵していると言わざるを得ません。

また、ワクチン接種については、当初の想定より遅れがみられ、感染防止に向け、順調に進めることが大変重要となります。

長期にわたる大災害にも等しいこの状況において、市民の間では感染拡大等に対する不安が一段と増している状況であると認識しています。

これらの状況を鑑み、喜多方市議会新型コロナウイルス感染症対策会議において、要望事項を緊急に取りまとめました。

つきましては、一刻も早くこの状況を打開し、市民の不安を解消し平穏な日常が取り戻せるよう、下記事項について必要な対応等を、国や県と連携し実現されるよう強く要望いたします。

記

- (1) 県に対して、新型コロナウイルス対策特別措置法に基づく「まん延防止等重点措置」を、会津地方振興局管内エリアの適用について、国に求めるよう要望すること。

- (2) ワクチン接種については、喜多方医師会と情報の共有を図りながら緊密に連携・調整し、集団接種についても検討するなど、迅速な接種体制を構築すること。また、コールセンターについては、受付電話の増設を検討するなど、柔軟に対応すること。
- (3) 「喜多方市新型コロナウイルス感染症対策に関する基本方針」の変更等については、市内の感染状況や市民の要請等に応じて、適時対応すること。
- (4) 早期に感染拡大を抑え込むために、全市民を対象に、無症状の希望者が無料で受けられるPCR検査を実施すること。
- (5) 市民への情報発信については、災害情報連携システム及び防災行政無線、広報車による呼びかけなど、あらゆる情報伝達手段を用いて、その時々状況に応じて速やかに対応すること。また、市が保有する情報については、支障の無い範囲で市民に提供すること。

喜多方市議会新型コロナウイルス感染症対策会議

	議 長	齋 藤 勘 一 郎
	副 議 長	坂 内 鉄 次
会 派 の 代 表 者	新 良 致 会	佐 藤 忠 孝
	創 造 喜 多 方	齋 藤 仁 一
	高 和 会	渡 部 一 樹
	公 明 会	小 林 時 夫
	日本共産党市議団	小 澤 誠
	和 同 の 会	山 口 和 男
	結 い の 会	田 中 雅 人